

セツブンソウの一品種

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大原, 準之助, Ohara, J. メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065736

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



Errata

In the previous part of the article, there are some serious errata in the text. They are to be corrected as follows : Vol. VIII, No. 1, p. 10, 7, 10, 12, 15 th. line ; low→law

○セツブンソウの一品種 (大原準之助) J. Ôhara : A New Form of *Eranthis pinnatifida* Maxim.

1959年3月末鈴鹿山脈の藤原岳(1,165m)にて西三河植物研究会会員粟田忠史,早川修両君の協力により,セツブンソウの八重咲き品を発見した。三重県員弁郡藤原村字坂本の聖室寺から登る鳴谷沿いの林内である。この山は石灰岩地でセツブンソウがかなり豊産し丁度中腹のものは開花期にあたつていたので登山道に沿つて隅なく調べることができた。その結果縮小密槽化した花卉も通常の花卉のように大きくなり,それに続いた雄蕊もほぼ完全に弁化した八重咲きのもの二株を得た。新品種としてヤエザキセツブンソウと命名する。色々御教示を賜つた名市大の豊島鍊三先生に深謝する。

Eranthis pinnatifida Maxim. form. plena Ôhara. f. nov.

Flores pleni.

Nom. Jap. Yaezaki-setsubunsô. (nov.)

Hab. Hondo : in monte Fujiwara-dake, Prov. Ise. Leg. J. Ôhara, III. 26, 1959-
Typus in Herb. Nagoya City Univ.

○四国,九州のカタイノデ (倉田 悟) S. Kurata : *Polystichum Makinoi* Tagawa in Shikoku and Kyûshû.

カタイノデは千葉県,東京都以西南の本州の暖地に広く分布し,空中湿気に恵まれた深山を好んで生育する。しかし,四国,九州ではむしろ珍しいシダの一つであり,従来,同地方のカタイノデとして報告されたものは,他のイノデ類を誤認したことが多い。以下,私の確認し得た標本の産地を列举する。伊予五良津(児玉親輔?, 1929年,山口大学文理学部),伊予周桑郡石槌村土居(越智一男, 1958年),土佐本山町(村田源, 1957年,京都大学理学部),肥後内大臣山(中島一男, 1937年,同),肥後黒原山(乙益正隆, 1958年),肥後白髪岳(同),肥後人吉(児玉親輔?, 1929年;前原勸次郎, 1958年),薩摩大口市布計(倉田悟, 1958年),薩摩矢筈岳(土井美夫, 1930年,京大理)。終りの産地は熊本県水俣市との境の矢筈岳(687m)であろうから,此所が西南限産地である。今後,徳島,福岡,大分,宮崎の諸県に発見を期待する。尚,支那大陸にもカタイノデに一致するものを産するが,更に検討を加えた上で別に報告したい。